

斉藤武一さんを偲ぶ会

武一さんの遺志を引き継ぎ、泊原発を止めよう！

1978年から45年間、泊原発の建設に反対され、2011年から始まった「泊原発廃炉訴訟」では原告団長を務められた岩内在住の斉藤武一さんが、2023年4月29日、急逝されました。泊原発の温排水の影響を調べるため、障害のあった足をかばいつつ、真冬でも岩内湾の水温測定を続けられるなど、泊原発の反対運動にすべてを捧げられた人生でした。

武一さんに心から感謝するとともに、武一さんのご苦勞を偲び、その遺志を引き継ぐのは、私たちひとりひとりであることを深く思っ、集まりたいと思います。

未来の子どもたちのために、「反原発紙芝居」を各地で行い、すべての人たちに、わかりやすく、原発の危険性と、泊原発の問題点を示してくださった武一さん、お疲れさまでした！



プログラム

1. 黙禱
2. 武一さんの「反原発紙芝居」
在りし日の武一さんの紙芝居を、ビデオ映像で上映。
3. 武一さんを偲んで…
岩内で、また札幌、釧路など各地で運動をともにされた何人かの方々に、思い出を語っていただきます。
4. これからに向けて…
 - (1) 「泊原発訴訟のこれから」 菅澤 紀生 弁護士
 - (2) 「泊原発の危険性を訴え続ける」
小野 有五(「行動する市民科学者の会」・北海道)
6月1日発行の「原子力資料情報室通信」588号に掲載予定の「科学を無視した泊原発の敷地内活断層の審査」別刷を参加者にプレゼントします。

日時 2023年6月10日(土) 18時半～20時半 (開場 18時)

会場 エルプラザ(札幌市男女共同参画センター) 3F 大ホール(札幌駅北口前)

参加費 500円 **16p.の記念冊子を謹呈。参加申込不要**

主催: 斉藤武一さんを偲ぶ会・実行委員会

問合せ: 岩内原発問題研究会(090-8899-9240 佐藤) // みんなる(011-756-3600)